

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスRふらっぴ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026/3/6		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	のびのびと成長できるよう、ご本人の満足も大切に、事業所の責任の範囲で自己決定ができるよう幅を広げて選択肢を提供しています。	デイの環境設定や、お迎え先でのご様子やご本人の体調などに合わせて課題や実施を再検討し、本人が「自分で選んだ」と実感できる成功体験を積み上げ、自己肯定感の向上を目指した支援を目指します。	本人の表出が困難な微細なサインを汲み取るアセスメント力を強化し、より個性の高い意思決定の機会を拡充していく。
2	個別療育の専門性の強化	個別療育の充実に向け、お子様の興味関心の変化や発達段階に合わせ、年間を通じて知育玩具や教材を随時更新・導入しております。教材を一つの用途に限定せず、お子様の状態に合わせて多角的に活用する独自の支援ノウハウを職員間で共有し、個別療育のさらなる質の向上を図っております。	お子様の個別の興味や発達段階に合わせ、常に「今の本人」に最適な選択肢を提供し続ける体制を強化するため、購入できる既存の教材も多様化し、新しい教材をデイオリジナルで作る方法も模索します。
3	公式Lineによる保護者との連携	LINE等を活用し、時間外を含む保護者様からのご連絡を柔軟に受け入れる体制を整えています。ご返信は開所時間内に迅速に行うことを基本とし、文字として記録を残すことで、利用日時の変更ミスや情報のすれ違いを防止しています。また、連絡帳の内容に基づいた個別のご相談にも丁寧に応じ、ご家庭と足並みを揃えた支援を徹底しています。	昨年度以上に、LINEや送迎時の対話を活用した「ご家庭との迅速かつ密な連携」を目指します。あわせて、相談支援事業所や学校等の関係機関との連携をより一層強化し、お子様を多角的な視点から支える「チーム支援」の質を高めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性や職員の対応力についての疑問視やサービスの質の向上を求められていると感じる。	異業種出身のスタッフが持つ多様な視点や、お子様一人ひとりと誠実に向き合う人間力を当事業所の強みとしています。一方で、これまでの支援技術の更新や、新しい療育指針の共有が組織全体で十分ではなかったことが課題であると認識しています。今後は、経験の長短に関わらず「全員が学び手」となり、今のメンバーの個性を活かしながら、組織として一歩ずつ支援の質をアップデートしていく体制を整えてまいります。	経験年数に関わらず、全スタッフが現代の療育指針に基づき「技術の更新」を続けられる学習文化を醸成します。異業種出身者の新鮮な視点とベテランの経験を融合させ、日々のカンファレンスを通じて支援の足並みを揃えることに注力します。今のメンバーがそれぞれの個性を活かしつつ、組織として一体感を持って成長できる、持続可能な教育体制を構築してまいります。
2			
3			

	保	公表	の児童発達支援事業所評価の集計結果
--	---	----	-------------------

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスRふらっぶ
------	------------------------

公表日

利用児童数

回収数

3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3				
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		1	保護者からの相談内容から個別対応させていただきます。	
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		1	1	次年度に保護者会を予定しております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2			1	ご利用者様ご家族様からの相談や申し入れについては個別で検討し、業務時間中ではございますが可能な限り(事業所内での話し合いが必要な場合もございますので)迅速にお返事させて頂いております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			1	小さな出来事でもできるだけ連絡帳や送迎の際にてご連絡するように心がけております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスRふらっふ	公表日	2026年 3月 6日
------	------------------------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	毎日室内の整理整頓・清掃を行い、朝の職員共有の時間に環境整備について都度話し合っルールの変更等を終わりの会で周知や相談をしてこどもたちを含めた全体での環境整備に取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	必要に応じて、個別療育の半個室を利用するなど行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	現在は、厚労省ガイドラインに基づいた自己評価及び保護者評価の実施と公表を徹底しており、日々の支援の振り返りと改善を積み重ねることで運営の質の維持に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	オンラインや外部講習を積極的に受講できる体制を整え、職員が多様な専門知識を常にアップデートできる機会を確保しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	支援会議・終礼・毎日ミーティング等で指導員の意見や日々の観察記録を共有し、チーム全体で検討を重ねることで、お子様の最善の利益にかなう計画作成に努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	正社員と行事担当者が月1回のミーティングを実施し、多角的な視点からお子様を楽しめる活動を計画しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	職員の負担を抑えつつ、活動の質を維持するために、ミーティングで効率的な準備方法を検討しながら、ゲーム内容や行事の進め方を毎年アップデートしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	半年に一度の計画見直しに加え、保護者様や本人の意向、職員の気づきを反映させ、その日の状況に合わせた柔軟な支援を心がけています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	並行利用や移行については保護者様と密に相談し、送迎時の対面コミュニケーションを通じて、幼稚園や学校等と支援内容の共有・相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	近隣に児童発達支援センターはありませんが、基幹相談支援センターや担当の相談支援専門員と密に連携し、必要に応じて専門的な助言を仰いでいます。また、第三者委員や他施設とも情報共有を行い、多角的な視点から支援の質を高める体制を整えています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	児童館への外出や近隣の公園利用を通じて、地域の中で他のお子様と同じ空間を共有し、自然な形で社会交流の機会を設けています。	もっと他の子供達と活動する機会があっても良いと鋭意検討中です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	保護者からの相談内容から個別対応させていただき、職員に周知し、ケア記録・業務日報にも記録しております。	周知するのに今回はチラシ等のアイテムがなかったのですが来年は広く情報周知を検討してまいります。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	保護者面談・本人面談・支援会意義を行って機会を提供しています。	今後もアセスメントを常に行い、疑問は共有して多角的に真のニーズを引き出すようにしてまいります。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6	保護者の方が見学に来てもらえるようなイベント(発表会等)を実施しているが、それが保護者の方向士の繋がりには現状なっていない。	次年度に保護者会を予定しております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	都度個人情報の取り扱いについて議論の余地がある場合等職員に共有してみんなで考える機会としています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		今後は地域へ開かれた事業所になるべく検討をしてみたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	職員には入社時、保護者には契約時に目を通していただいております。火災や地震、不審者対応などのマニュアルを完備し、いざという時に職員が迷わず動けるよう、定期的な訓練や研修を通じて周知を徹底しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	契約時の重要事項説明やマニュアル提供に加え、避難訓練の実施状況や日々の安全管理の取り組みについては、連絡帳や事業所内掲示等を通じて、安心してお預けいただけるよう適宜お伝えしています。BCPについては毎年更新・研修をし、周知徹底を図っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	年1回の安全計画見直しと年2回の避難訓練を継続し、未参加職員へは記録共有や個別周知を行うことで、組織的な安全管理体制を維持しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9				